

めいほ あんなこと こんなこと



《雨情蕎麦クラブ》12/30
「どんぐり亭へ年越しそば実演」



《県民総ぐるみ交通安全運動》4/6~4/15・9/21~9/30
「無事故を願って立哨しました」



《ときめき講座》5/26
「今年は落語で大笑いしました」



《赤ひげ先生講演会》6/5
「高橋昭彦先生の話しに感動しました」



《フェンスアート》6/11
「今年も素敵なお手本ばかりです」



《環境点検》7/3
「今年もしっかり点検しました」



《異世代交流ハイキング》7/9
「玉原ラベンダーパーク」



《流しソーセン》8/11
「今年も美味しかったよ」



《ふれあい昼食会》12/2
「初めてのクリスマス会をしました」



《文学の旅》11/2
「東京浅草、浅草寺にて」



《歩け中央公園・学べ博物館》11/3
「まだまだ足も頭も元気です」



《ネパール料理教室》11/11
「ネパールカレーに挑戦!」



《赤十字募金支援活動》12/4
「沢山の募金が集まり皆、笑顔」



《羽黒神社の落ち葉払い》12/5
「新年を迎える準備です」



《しめ飾り教室》12/22
「立派なしめ飾りでよいお年を」

明るい めいほ

第22号
H29.1

発行: 明保地区明るいまちづくり協議会
〒320-0851
宇都宮市鶴田町 3668-36
明保地域コミュニティセンター内
TEL/FAX 028(648)7253
Eメール: miho_com@snow.ucatv.ne.jp

雨情文化を育むまちづくりへ さらなる発信

明保地区は、野口雨情の終焉のゆかりの地として、旧居、詩碑、記念像などがあり、道路や橋、団体やサークルにも雨情の名を沢山付けられているなど、雨情をこよなく愛し、親しんでいます。

明保地区では雨情の命日(1月27日)を雨情の日として、各種事業を企画実施するため「雨情文化を活かしたまちづくりプロジェクト」を立ち上げました。(次年度以降も継続)

事業内容(28年度)

- 雨情情報コーナーの設置
(明保地域コミュニティセンター)
- 一般用冊子の発行
- 児童用冊子の発行
(明保小学校児童の副読本)
- 講演会の開催
- 雨情の歌を唄いましょう

29年度は下記の事項を企画しました

- ◇雨情祭りの開催
(平成29年1月29日 日曜日)
- ◇講演会(基調講演、パネルディスカッション)
音楽会(明保小児童、雨情合唱団 他)
- ◇雨情情報発信の充実化
(ホームページ・雨情情報コーナーの見直し、追加 パンフレットの作成)
- ◇旧居など施設の保全対策へのアプローチ
(老朽化に伴う保存策の研究、検討など)



野口雨情 情報コーナー



雨情の日 講演会



一般用・児童用冊子



児童用冊子贈呈式



雨情の日 児童合唱

ご近所の見守り・支え合い 安心に暮らせるまちづくりを進めよう

私たちのまちは高齢化が急速に進み、高齢者の一人暮らしや高齢者のみの世帯が増えてきています。明保地区ではこれらの方々が安心・安全に、生きがいをもって過ごせる仕組みづくりやクラブ、サークル、教室などの居場所づくりが設置され、日常的な活動を行っています。

《仕組みづくりの概要》

明保地区災害時要援護者支援制度(平成21年9月発足)

災害時要援護者支援制度とは、集中豪雨や 地震などの自然災害に備え自力避難が困難で避難に時間を要する災害時要援護者を、日頃から誰かが支援し、どこに避難させるかなどについてあらかじめ地域住民同士で決めておく、“地域ぐるみの助け合い”的制度です。

この制度は地区災害時要援護者支援班や避難支援に携わる人々の温かい善意(ボランティア)によって支えられている制度です。



明保地区高齢者見守り安心ネットワーク(平成24年3月発足)

◇ 対象者 ◇

見守り安心ネットワーク実施の対象者は65歳以上のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯。

- ① 身体または精神上、日常生活に支障がある方。
- ② 近隣者及び親族の交流が少なく、日常の安否確認が困難な方。

◇ 見守り活動員 ◇

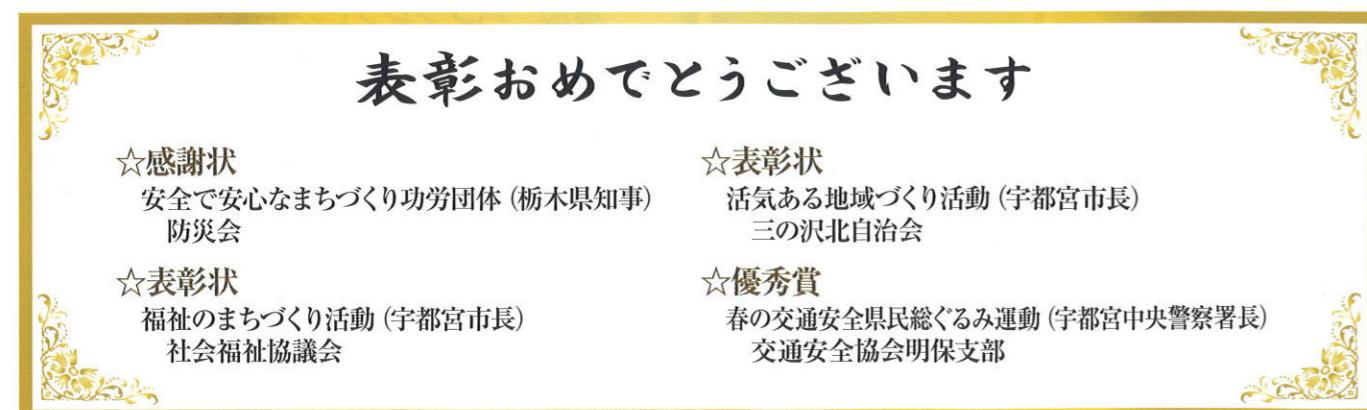
見守り活動員は自治会ごとに次の者とする。

自治会役員、福祉協力員、ボランティア役員、民生委員、老人クラブ役員、地域の住民などから。



◇ 見守り活動の実施 ◇

- ① 見守り対象者の把握。
- ② 高齢者見守り訪問調査票の作成。(地域の見守りを希望する高齢者)
- ③ 見守り対象者の台帳の作成。
- ④ 見守りを希望する高齢者の見守り実施項目及び連絡票。



住み慣れたまちで暮らすための「地域包括ケアシステム」が進められています。明保地区では「まちづくりビジョン策定」の重要な課題として捉え、逐次チャレンジすることになりました。

明保地区 地域包括ケアシステム構想図

